

株式会社 アルシュ arche

## arche Journal

アルシュ ジャーナル

## 住まいに関するあれもこれも・・・

いろいろなお役立ち情報を まとめてお届けします！！

## 目次：

田んぼアートの村 ～青森県田舎館村～	1
建物の地震対策の種類 ～耐震・制震・免震～	2
色の持つ効果	2
じわじわ来てます。 土間スペース。	3
やっておきたい “省エネルギーフォーム” ～築20年以上は要注意?!～	3
建築豆知識 似ているけれど違うもの?	3
アルシュの施工事例 ～キッチンアイデア紹介編～	4

まだまだ暑い日が続きますが、すっかり秋の空ですね。

9月と言えば…お月見です！

お月見は、日本だけの文化だと思っていたのですが、海外にも、お月見文化があるそうです。一般的にお月見を行う日は、八月十五夜と呼ばれる、旧暦の8月15日。この日が**中秋の名月**と呼ばれます。今年2013年のカレンダーでは、9月19日（木）。さらに、九月十三夜と呼ばれる日にも、お月見が行われます。（今年は10月17日）食べごろの大豆や栗などを供えていたことから、“**豆名月**”や“**栗名月**”と呼ばれたりもします。しかし、この九月十三夜にお月見を行うのは日本だけ！ちなみに、お月見＝ウサギというのも日本だけの文化だそうですよ。西洋では、カニ・ライオン・ワニなどに見立てられているのだとか。

最近では、お月見を行う家庭も少ないかもしれません。毎年とは行かなくても、たまには、すすきを飾り、月見団子を用意して、電気も消して月を眺めてみる……。なんていうのも素敵ではないでしょうか（^^）

アルシュの窓

テーマ ● お月見 ●



アルシュでは、お月見の準備完了しました♪あとは当日、月見団子を用意するだけ！！

## 田んぼアートの村 ～青森県田舎館村～



田んぼアートの村「田舎館村」HP  
<http://www.vill.inakadate.lg.jp/>  
過去の作品たちも見られます♪♪

最近知ったのですが…みなさまは、田んぼアートをご存知ですか？田んぼアートとはその名の通り、田んぼをキャンパスに見立てたアート作品のことです。現代の米と、古代に栽培されていた“古代米”と言われる色の違う稲を使い巨大な絵を描きます。もちろん着色料など使っていません。全て自然の色なのです。1993年に、村おこしとして青森県南津軽郡田舎館（いなかだて）村が始めたプロジェクト。年々クオリティが高くなっていると話題になり、最近

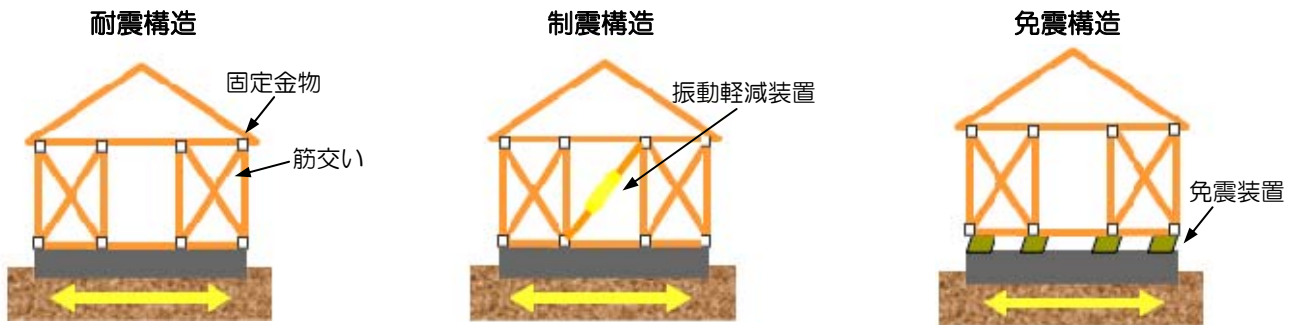
では海外でも注目されています。6月には田植え・10月頃には稲刈りの、一般の方も参加できる体験ツアーがあり、大人気なんだとか。田舎館村の今までの作品は「弁慶と牛若丸」「悲母観音と不動明王」…。今年は『花魁』。マリリン・モンローとウルトラマンも描かれているようです。これが田んぼだなんて、本当に驚きですよ！稲の色は1日として同じ色はありません。日々変化していく芸術作品。ぜひ、一度は目にしてみたいものですね。



## 建物の地震対策の種類 ～耐震・制震・免震～

地震国日本に暮らす私たちにとって地震対策は、重要なことです。地震による建物の損壊や倒壊は、振動エネルギーが建物に伝わることで起こります。地震対策は、その振動エネルギーをどう防くかが、ポイントとなります。

現在、建物の地震対策は、“耐震・制震・免震”の3種類が代表的。これらには、一体どのような違いがあるのでしょうか？

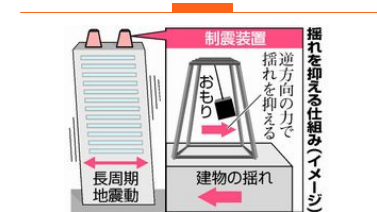


壁や柱など、建物の構造を強化し建物自体が振動エネルギーを受け止め地震に耐えられる構造にします。

壁や柱などに、振動軽減装置を組み込み、建物に伝わった振動エネルギーを吸収する構造になります。

基礎と建物の間に免震装置を設置。それが振動エネルギーを吸収し、建物に揺れが直接伝わらないようにします。

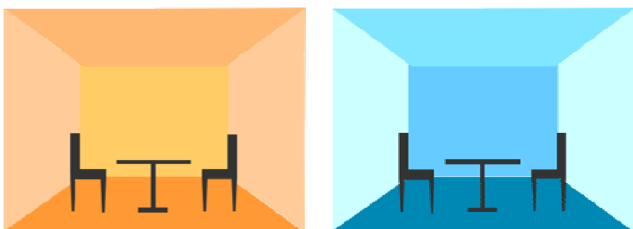
	耐震構造	制震構造	免震構造
大地震での建物損傷	△ (有)	○ (小)	◎ (無)
揺れへの衝撃感	△ (大)	○ (中)	◎ (小)
施工コスト	◎ (低)	○	△ (高)
軟弱地盤への適用	○ (適)	○ (適)	△ (不適)



地震で、高層ビルの上階が大きく揺れる「長周期地震動」を抑える制震装置を三井不動産と鹿島が開発。この装置で、建物の揺れを6割も減らすことができるそうです！

※地震対策も大切なことですが、その前に、住まいの耐震性がどれだけあるのかを知っておくことも必要です。特に1981年6月耐震基準法の改正前に建築された家にお住まいの方は、耐震診断をおすすめします。

## 色の持つ効果



### どちらが広く感じますか？

色には、同じ距離から見て、近くに感じる進出色（暖色系）と、遠くに見える後退色（寒色系）があります。同じ広さの部屋でも、後退色（青）の方が、広く感じませんか？

色には、「暖色系」「寒色系」という分け方があります。暖色系は、赤・橙・黄色など文字通り温かみを感じる色。寒色系は青・青緑・青紫など、寒さや冷たさを感じる色です。これらの色の効果は、目で見るだけでなく、皮膚からも感じるということをご存知ですか？

実験的に作られた真っ赤な部屋と真っ青な部屋に、目隠しをしたまま一定時間経過すると、体温や心拍数に明らかな違いが出るのです。同じ温度に設定した部屋にいても、見えていないにもかかわらず、自律神経の刺激によって感じる体感温度は、3℃

も違いがあるとか！けれど長時間だと刺激が強すぎてしまい、疲れてしまいます。長時間過ごすお部屋には、鮮やかさを抑えた色を使うことをオススメします。しかし、床や壁紙を季節ごとに変えることは、なかなかできないもの…。ソファカバーやカーテンなどを季節ごとに変えてみるだけでも、効果は十分にあります。日の当たらない北側の暗めな部屋には、暖色系を使って、暖かさを演出。寒色系は、気持ちを落ち着かせる効果があるので、寝室に…などなど。色の持つ効果を上手に取り入れて、心地よいお部屋づくりを楽しみましょう！

## じわじわ来てます。土間スペース。

最近、住宅雑誌などで「土間のある家」なんてキャッチコピーをよく目にします。昔はどこの家にもあった“土間”。玄関もモチロン、台所も土間だったり、廊下が土間だったり。屋外のような、屋内。この曖昧さから、様々な用途に使われてきた土間。外と内をつなぐと同時に、人と人も繋いできました。現代住宅では、使われることが少なくなっていた、この空間。近年、じわじわと、というよりも、とても人気が出てきています。特に、都市部の狭小住宅と言われるような、コンパクトな住宅にも多く採用されるようになってきているようです。よく見られるのは『趣味スペース』や『収納

スペース』としての土間。趣味のクロスバイクを飾ったり、キャンプなどの屋外で使う道具をしまっておいたり…。ペットや子どもの遊び場になったり、お父さんの日曜大工の場にもなります。また、広めの土間スペースにソファやテーブルを置いて、お客様をおもてなし！なんて計画も素敵ですよ。土間は基本的には、多目的で、自由な場所。狭い空間には広がり、広い空間においては、繋がりを感じさせてくれたりします。一度は衰退してしまった土間。しかし、多様化する現代人のライフスタイルには、“土間”という自由な空間が必要になりつつあるのかもしれない。



こんな広々とした土間、憧れます！

[出典]<http://asano.narasaku.jp/c2549.html>

限られた土地での家づくり…。広い土間スペースは確保できなくても、このくらいゆとりのある玄関が理想的ですよ♪



## やっておきたい“省エネリフォーム”～築20年以上は要注意?!～

### 年代ごとの「省エネルギー基準」

- \* 1979年までに建てられた家  
旧省エネ基準以前  
(無断熱の家も多い)
- \* 1980～1991年  
旧省エネ基準  
(最新の性能の1/5程度の断熱性能)
- \* 1992～1998年  
新省エネ基準  
(最新の性能の約半分の断熱性能)
- \* 1999年以降  
次世代省エネ基準  
(複層ガラスになったのはこの時代)

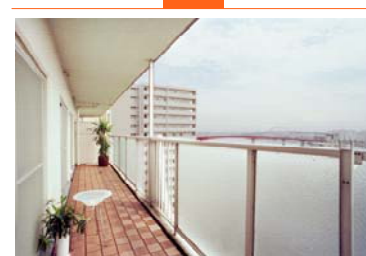
快適な住まいづくりのためには、築年数に合わせたメンテナンスが重要になってきます。老朽化対策のリフォームも大切ですが古い家の弱点である“省エネ性能”についても、一度見直してみませんか…？ 住宅建築においては、その時代ごとに『省エネルギー基準』という、住宅を省エネにするための指針が出されています。この基準は約10年単位で進化しています。今年、築20年の家ならギリギリ**新省エネ基準時代**に建てられた住宅です。『今の基準の半分くらいなら、大丈夫かな～』と思う方も多岐かもしれませんね。しかし、新基準と次世代基準には大きな違いが…。それは“窓”。「新」基準では1枚ガラスでOK

でした。しかし、現在の「次世代」基準からは、ガラスが2枚入った「複層ガラス」のサッシが基準となりました。例えば、冬の暖房時、1枚ガラスでは5割近くの熱が窓から流れ出してしまうというデータもあります。(日本建材産業協会省エネルギー建材普及センター発表)つまり、省エネ住宅への近道は窓の断熱性能をあげること！窓の性能を上げるだけでも家の中が快適になります。省エネリフォームは、見た目にはわかる変化が少ないので、地味なりリフォームのように感じてしまいます。でも私たちの住まいの快適度をグッと上げてくれる効果の高いリフォームです。築20年目のリフォームで、目指せ！省エネ住宅！

## 建築豆知識 似ているけれど違うもの？

いきなりですが、みなさま“バルコニー”と“ベランダ”の違い、ご存知ですか…？「えっ？一緒じゃないの？」なんて方もいらっしゃるかもしれませんがね。マンションや一戸建てに関わらず、ほとんどの方のお住まいに、ベランダかバルコニーのどちらかが付いているかと思えます。同じもののように思えますが、この2つには決定的な違いがあるんですよ。それは…『屋根』！実は、屋根があるものは、**ベランダ**。屋根のないものが、**バルコニー**なのです。ペラ

ンダは、元々はインド語が語源。高温多湿なインドの気候に合わせて暑さをしのぎ風を通すため、屋根のついたベランダが作られました。バルコニーの語源は、イタリア語。日差しが強く、温かい南ヨーロッパでは直射日光を遮るために、家の窓が小さくなっています。日光浴をするため、屋根のないバルコニーが作られたとか…。実際のところ、日本では明確な取り決めはないのでバルコニーかベランダかは、間取り図の表記次第なのですけどね( ^ ^ )



例えば・・・これは屋根があるので“ベランダ”になります。一般的な日本のマンションやアパートには、バルコニーは少ないかも…？

## アルシュの施工事例 ～キッチンアイデア紹介編～

新築・リフォーム問わず、必ずと言っていいほど、みなさま（特に奥様）が、こだわられるキッチンスペース。  
家事が楽しくなるような、機能的で、おしゃれなキッチンにしたい！ですよね？  
今回は、アルシュの今までの施工事例の中から、素敵なキッチンスペースをご紹介します♪

### カラー・素材

最近では、カラフルなキッチンも当たり前。

キッチン選びの第一段階？色や素材でお悩みの方も多はず…！



A・B・C 白などのシンプルな色は定番ですが、インテリアの差し色として、ヴィヴィッドな色を選ばれる方も♪ Dこんな素材なら、本格的な厨房風になったり・・・?! E木目調のものなら、アンティークな雰囲気にも…。



### フルオープン？独立型？

吊り戸棚や壁のないオープンタイプのキッチンが大人気。でも、独立型も根強い人気？！



F 人気の対面式のオープンキッチン。家族とのコミュニケーションが取りやすく、L型・I型などキッチンの形を問わず人気のタイプです。G どうしても雑然としがちなキッチン廻り。急なお客様などの対応時にも、独立型や半独立型なら安心。ペットとお住まいの方にもオススメです。

### 配置計画は…？

配置計画は、一番重要な課題！配置の仕方によって、今後の家事生活が決まるといっても過言ではありません。壁付け・ペニンシュラ etc…。やっぱり、女性の憧れ、アイランド？



H 広さに余裕があれば、アイランド型にしたい方は多いはず…。 I 実際、アイランド型にしたいけどもできないことは、よくあります。「スペースは限られているけど、壁付けキッチンは嫌だ！」という方には、このペニンシュラ型がオススメです！住宅雑誌などで見かけるのもこのタイプ。最近では定番の配置計画です。

### 省スペースでおしゃれなDKに！



キッチン計画で、皆様がつぶかる大きな壁。それは、ダイニングテーブルのサイズが思っていたイメージより、大きいこと！？

J・K そんな時は、潔くカウンターにしてしまいませんか？その分キッチンとリビングを広くできます♪お子さまが独立されたご夫婦や少人数のご家族に人気です（＾＾）



新築・リフォーム・住まいのことなら！

株式会社 アルシュ arche

〒564-0063 吹田市江坂町1丁目9番17号

TEL : 06-6380-5420

FAX : 06-6380-5421

Email : arche@blue.ocn.ne.jp

<http://www.arche-arche.net>

アルシュでは、ご自宅を公開していただけるお客様を、募集しております。ご自宅にお伺いしての写真撮影・インタビューなどに、ご協力を、お願いします。また、楽しくなるようなひらめきや工夫でECOライフを楽しんでいる方のお話なども募集しております。その他ご質問や取り上げてほしい話題・住まいに関する疑問、我が家のペット自慢等々、是非お気軽にお寄せ下さいませ。  
皆様からの、率直なご意見・ご感想 お待ちしております。